

2008年4月1日(火)から、東急線の駅係員・乗務員の制服をリニューアルします

素材やデザインを見直し、気持ちも新たに、お客さまサービスのさらなる向上に努めます

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、2008年4月1日(火)から、東急線の駅係員・乗務員の制服をリニューアルします。

現行の制服は、1992年に当社創立70周年記念として導入し、16年にわたって使用してまいりましたが、今年は、大井町線での急行運転や目黒線の日吉延伸など、鉄道ネットワークの強化に向けた新たな施策がスタートする節目の年となることから、制服についても一新し、お客さまに安心・快適に東急線をご利用いただけるよう、サービスのさらなる向上に努めてまいります。

新制服は、動きやすいストレッチ素材を採用したほか、引っかかりやすい袖のボタンをなくすなど、機能性を重視したデザインとしています。また、廃ペットボトルなどをリサイクルした再生ポリエステル繊維を使用し、環境にも配慮しています。

なお、これに合わせ技術員の作業服もリニューアルします。（別紙参照）

新制服の概要は次のページのとおりです。



<左より駅係員・乗務員（男性用） 駅係員（女性用） 乗務員（女性用） 駅長>
写真は夏服になります。

新制服の概要

導 入 日 2008年4月1日(火) 夏服は2008年5月1日より着用開始予定

着 用 対 象 駅係員・乗務員（東急線全線）

主 な 特 徴

- (1)動きやすい軽量のストレッチ素材を制服生地に採用したほか、懐中時計など乗務員の携行品を収納するポケットの位置や深さを見直すなど機能性を高め、作業効率の向上を図りました。また、廃ペットボトルなどをリサイクルした再生ポリエステル繊維を使用し、環境にも配慮しました。
- (2)制服のボタンは電気を通さない安全な樹脂製としたほか、引っかかったり車体に傷をつけたりしないよう、袖のボタンをなくしました。またネクタイについては、引っ張ると外れるフック式を採用しました。
- (3)制服のチーフデザイナーには、オリンピック日本代表選手団公式ユニフォームなどのデザインを手がけた大矢寛朗氏を迎えました。清潔感・信頼感を感じさせる紺色を基調とした制服に、ネクタイの色を冬は赤、夏は青とすることで季節の変化を表現しました。また、男性用制服ズボンにはサイズを合わせやすいアジャスターを採用したほか、女性用制服は足さばきが容易なキュロットスタイルとするなど、随所に細やかな心遣いを取り入れました。
- (4)現行の女性用制服は、男性用制服とは別の時期に制作したもので、デザインが異なっていました。近年、鉄道業務に従事する女性社員が増加していることから、新制服の導入を機に男女の制服デザインを統一しました。

デザイン監修 財団法人日本ユニフォームセンター（略称：NUC）

デザイナー：大矢寛朗（オオヤ ヒロアキ）氏 - NUC評議員

【ユニフォームデザイン経歴】

- ・長野オリンピック日本代表選手団公式ユニフォーム（NUCプロジェクトデザイン）
- ・シドニーオリンピック日本代表選手団公式ユニフォーム（NUCプロジェクトデザイン）
- ・淡路花博ジャパンフローラ2000公式ユニフォーム
- ・ハノーバー国際博覧会 日本館

以 上

(別紙)

作業服の概要



作業服の特徴

- ・ 現行よりも鮮やかな蛍光オレンジ色の生地を採用し、視認性を高めました。また、静電気を防止する導電性繊維を使用し、作業の安全性を高めました。
- ・ 色落ち・縮みが少ない丈夫な再生ポリエステル繊維を素材に使用し、耐久性を高めました。

以 上